

令和7年度の重点課題

- 5年生は、男女とも「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」に課題がある。
- 5年生の男女ともに課題となっている「20mシャトルラン」と「ボール投げ」は、学校全体としても低い傾向にある。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

- 委員会の取り組みと連動して、児童会の月目標に外遊びを設定したり、ロング昼休憩に児童会が計画した遊びやクラス遊びをしたりするなどをし、運動する児童を増やす取り組みをした。
- 体育の授業では、開始時にサーキットを取り入れ、運動量の確保とともに体力アップに取り組んだ。
- 道徳科と関連させて、最後まであきらめない心や、基本的な生活習慣の見直しなど、情緒面、健康面からも体力アップにアプローチした。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.00	12.67	28.67	31.33	11.33	12.20	113.33	9.67	34.00	第5学年	15.00	12.33	34.67	33.67	27.67	10.63	140.00	10.33	46.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和8年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.00	12.67	28.67	31.33	11.33	12.20	113.33	9.67	34.00	第5学年	15.00	12.33	34.67	33.67	27.67	10.63	140.00	10.33	46.00

県平均値かつ全国平均値未満

R8年度の県調査結果が判明した後、最新の情報を公開します。

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	0.00	100.00	0.00	0.00	第5学年	0.00	100.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

体を動かすことが好き	とても	だいたい	あまり	ぜんぜん	4年生	88.9	0	0	11.1
1年生	80.0	20.0	0.0	0.0	5年生	16.7	66.7	16.6	0
2年生	80.0	20.0	0.0	0.0	6年生	50.0	28.6	14.3	7.1
3年生	71.4	0.0	14.3	14.3	全体	63.8	21.3	8.5	6.4
					割合	85.1%			14.9%

重点課題

情意面での課題

- 5年生の中には、運動に対して苦手意識をもっている児童がいる。
- 体を動かすことに対して肯定的な児童の割合は、85.1%(前年比4.9%↓)である。
- 学校全体で見ると、中学年や高学年に体を動かすことが好きではない児童が複数いる。

体力面での課題

- 5年生は、男女とも、どの項目も県平均値かつ全国平均値より低い数値となっている。特に、「20mシャトルラン」と「ボール投げ」は、平均値を大幅に下回っており、毎年の本校の課題である。

令和9年度の
重点目標値

- 1日の活動時間が30分未満の児童を0%にする。
- 「20mシャトルラン」「ボール投げ」を県平均値に近づける。
- 昨年度と同様、児童の体力について保護者との連携を100%にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して準備運動(5～10分)の中に、サーキットトレーニングや縄跳びを取り入れる。
 - ・雲梯・鉄棒・柔軟運動
 - ・全学年統一の「なわとびカード」の使用
- 運動量を確保し、継続して体を動かす機会を増やす。
- 個人目標をもたせたり、ゲーム形式で楽しみながら運動させたり、授業改善を行う。
- 遊び(ゲーム要素)を取り入れながら、自然と必要な動きが身につくメニューを授業の中に取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

- 「外遊びをしよう」などという目標を児童会の月目標に設定して、運動意欲を高めたり、運動の機会を設けたりする。
- 2週間に1回、体育朝会を設定し、走力や瞬発力、持久力を高める運動を実施する。
- 2ヶ月に1回程度のロング昼休憩で、各学年や児童会が計画した遊びを実施し、体を動かすことの楽しさを味わわせるようにする。